

令和4年(2022年)

9月5日号

SOKA

広報そうかアンケート

広報そうか9月5日号の
意見を聞かせてください!

今後の広報発行物作成の参考と
させていただきます。



配布に関する問い合わせ(土・日・祝を除く)【松原1・2丁目】松原団地見守りネットワーク☎933-9500【その他の地域】シルバー人材センター☎928-9211



家庭でできる もしもの備え



「感震ブレーカー」の設置

地震による火災の半数は「電気」が原因。揺れを感知し、自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置が効果的です。

分電盤タイプ

コンセントタイプ

簡易タイプ



停電時に作動する保安灯(非常用照明器具)なども設置しましょう。

備蓄は最低3日分準備 (できれば7日分を)

- 非常用食料・飲料水(水は1人1日3ℓ目安)
- 簡易トイレ(1人1日5回を目安に)
- ライト
- 衛生用品
- 応急医療品

相次ぐ災害で日頃の備えの 必要性が再認識されています

防災用品や備蓄品を揃えても、いざという時に「電池が切れていた」「賞味期限が過ぎていた」「足りないものがあった」といったことがないように備えを見直しましょう。また、災害について家族や身近な人と話し合っておきましょう。

窓ガラス等の保護



窓や戸棚のガラスは、飛散防止対策済みのものに交換するか、飛散防止フィルムを貼りましょう。

耐震診断・耐震改修

外壁・ブロック塀の確認

建物やブロック塀の倒壊は、人的被害につながります。診断や必要な改修を行い、被害を防ぎましょう。

費用の一部補助や無料診断を行っています。
→詳しくは2面へ

安否確認方法も
話し合っておきましょう!

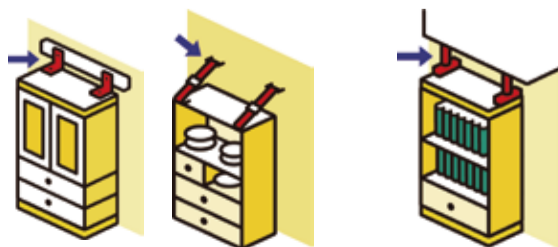


家具の転倒防止対策

- タンスや本棚など倒れやすい家具を固定する
- 寝る場所に家具が倒れないように家具の配置を見直す
- 避難ルート(玄関や窓まで)が確保できるか確認する

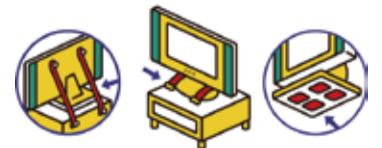
L字金具やベルトで

つっぱり棒で



器具(L字金具)等の取り付けを支援しています。→詳しくは2面へ

ディスプレイ等の固定



テレビやパソコン等は、粘着マットやストラップ式器具で固定しましょう。

関危機管理課

☎922-0614 FAX922-6591